

# 課題NO.1

## 土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着

活動期間：令和3年度～令和5年度

対象：有限会社薬師農産、農事組合法人かすかわ

チーム員：千葉研一郎、中村寛、堀越綾子、高橋怜史



# 1 課題の背景・ねらい

## (背景)

- 大郷町前川地区では、農地整備事業が予定されている。
- 高収益作物として、えだまめやねぎの導入が検討されている。
- 対象の2法人は、当地区内の担い手であり、農地整備事業に先駆けて、えだまめ栽培に取り組むことになった。
- えだまめ栽培の導入は、水稻や大豆の作業との競合が課題となる。そこで、収穫から出荷調製作業の省力化・分業化や早晩性の異なる品種の組合せによる作期分散に向けた支援が必要となっている。
- 町、JAでは、えだまめを振興作物として位置づけている。

## (ねらい)

定性的目標：・栽培技術の習得により反収が向上する。  
・出荷体系が検討される。

定量的数値目標：10a当たり可販収量 R4：240kg

## 2 活動内容

### (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援



補助暗渠施工 (2月、4月)



栽培体系の確認 (4月)



生育調査 (6~8月)



先進地視察研修 (7月)



土壌調査 (11月)



振り返り検討会 (12月)

# 2 活動内容

## (2)出荷体系の検討

作業日誌記帳(5~8月)

月日	作業内容	作業時間	作業人数	作業場所	作業内容	作業時間
4/25	耕耘	8:00~10:00 (1時間)	1人	トラクター	5時間	
4/26	肥料散布	8:00~10:00 (2時間)	2人	トラクター	1時間	
4/27	追肥散布	7:00~10:00 (3時間)	1人	トラクター	2時間	
4/28	耕耘	7:00~10:00 (3時間)	1人	トラクター	1時間	
5/1	耕耘	7:00~10:00 (3時間)	1人	トラクター	1時間	
5/2	追肥散布	7:00~10:00 (3時間)	1人	トラクター	1時間	
5/3	耕耘	7:00~10:00 (3時間)	1人	トラクター	1時間	
5/4	除草剤散布	7:00~10:00 (3時間)	2人	トラクター	30分	
5/1	肥料散布	7:00~10:00 (3時間)	2人	トラクター	1時間	

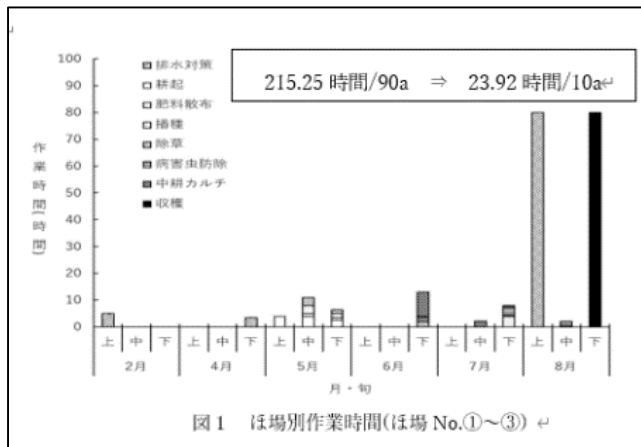
作業日誌記帳(5~8月)



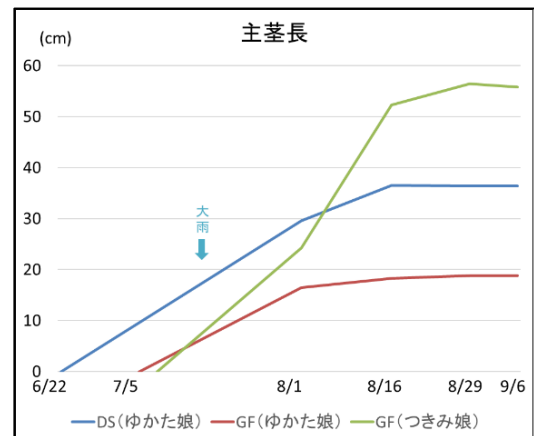
生育調査(8~9月)



作付計画検討会(1月)



労働時間調査結果



生育調査結果

※対象以外の法人含む

品種	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
播種1 (中早生)	●			●			◎			■	■							
初花1 (中早生)																		
播種2 (中早生)				●						■	■							
初花2 (中早生)																		
播種3 (中早生)				●						■	■							
初花3 (中早生)																		
播種4 (中早生)				●						■	■							
初花4 (中早生)																		
播種5 (中早生)				●						■	■							
初花5 (中早生)																		
播種6 (中早生)				●						■	■							
初花6 (中早生)																		
播種7 (中早生)				●						■	■							
初花7 (中早生)																		
播種8 (中早生)				●						■	■							
初花8 (中早生)																		

播種スケジュール表

# 3 これまでの活動成果

## (1)排水対策・雑草防除等栽培技術支援

### ○排水対策

- カットブレーカー、カットドレーン、プラソイラによる補助暗渠の設置。
- 施工方法の違いによる生育差や土壌状態に変化なし。
- 土壌水分調査では、7月の大雨前まではカットドレーンの排水効果が高かったが、大雨後では施工方法の違いによる差はなし。
- 生産者は排水対策の効果を実感。3機種の中でカットドレーンが高評価。

### ○雑草防除

- 除草剤と中耕による除草体系による防除が実施され、畝間の雑草は上手く防除できたが、株間の雑草防除が課題。
- 先進地視察研修において、効果の高い除草剤について情報を収集。
- 振り返り検討会において、除草のタイミング等について情報を共有。

# 3 これまでの活動成果

## (1)排水対策・雑草防除等栽培技術支援

○栽培実績 (数値目標：10a当たり可販収量 240kg)

法人名	栽培面積	10a当たり可販収量	栽培品種
有限会社薬師農産	169a	冠水被害	ゆかた娘 (中生) 他
農事組合法人かすかわ	209a	335kg	ゆかた娘 (中生)
実績		335kg	



# 3 これまでの活動成果

## (2) 出荷体系の検討

○ 出荷時期 (対象2法人以外の法人含む)

播種5/12~7/8 → 収穫(出荷)8/23~9/28

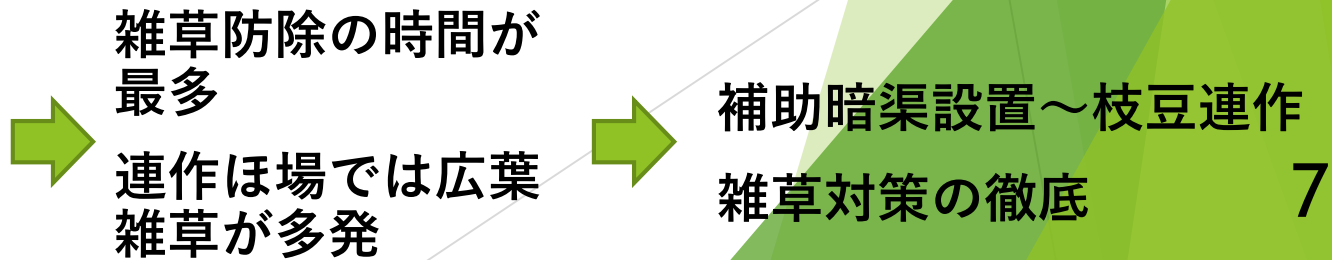
品種	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
かすかわ① 「ゆかた娘」		●									■	■	■					
		5/12播種									8/14計画	8/23収穫	(103日)					
かすかわ② 「ゆかた娘」		●										■	■					
		5/20播種										8/25収穫	(97日)					
かすかわ③ 「ゆかた娘」			●										■	■				
			5/26播種										8/31収穫	(97日)				
ディーエスファーム 「ゆかた娘」				●										■	■			
				6/22播種										9/12収穫	(82日)			
大郷グリーンファーマーズ① 「ゆかた娘」							●								■			
							7/5播種								9/21収穫	(78日)		
大郷グリーンファーマーズ② 「つきみ娘」								●							■			
								7/8播種							9/22収穫	(76日)		
大郷農産 「秘伝」						●									■	■		
						6/23播種									9/28収穫	(97日)		

10日程度の収穫の遅れ  
収穫の重なり

## ○ 労働時間調査

### (10a当たりの労働時間)

水田からの転換1年目ほ場 11.5時間  
大豆・枝豆連作ほ場 24時間



## 4 令和5年度の活動について

### (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

- カットドレーンによる排水対策
- 除草剤の検討や手取り除草を追加した雑草防除体系を提案
- 現地検討会の実施による技術の研鑽を支援

### (2) 生産体系の最適化

- 法人間の収穫時期が重ならないよう早晩性の異なる品種も組み合わせさせた作付計画の組み立てを支援
- 労働時間調査等の継続